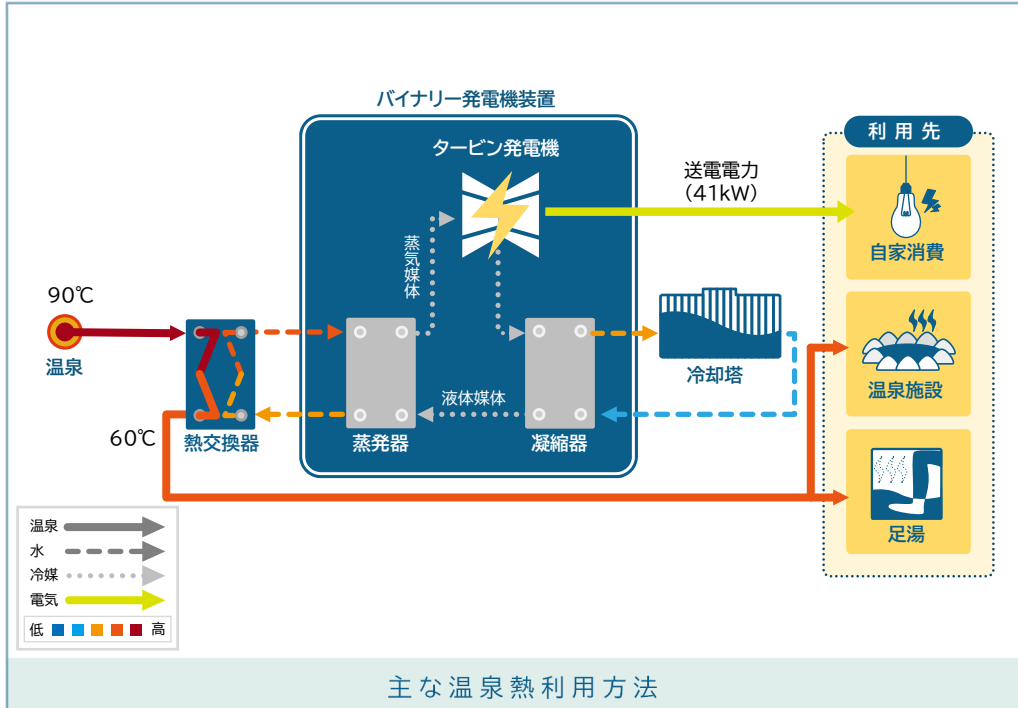


概要

バイナリー発電により発電した電気や、温泉と熱交換後の温水を、施設内温泉施設「薬師湯」で消費している。また、バイナリー発電後の温泉水は、温泉や足湯へ利用している。なお、災害時等にバイナリー発電機を稼働させ、電力を当該施設に供給することで防災拠点とすることも可能である。湯村温泉では、昭和46年から集中配湯を行うなど、古くから積極的に温泉熱を活用している。



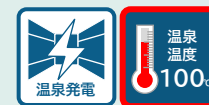
泉 質	ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉	CO₂ 排出量 削減 効果  169 t-CO₂/年相当 削減 ※1	エネルギーコスト 削減 効果  46% 削減 ※1
熱利用温度	90℃		
利 用 温 泉	既存温泉		
総 事 業 費	8,000万円（一部補助金あり）		



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

※ 1: CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値です。

小浜温泉
バイナリー発電所

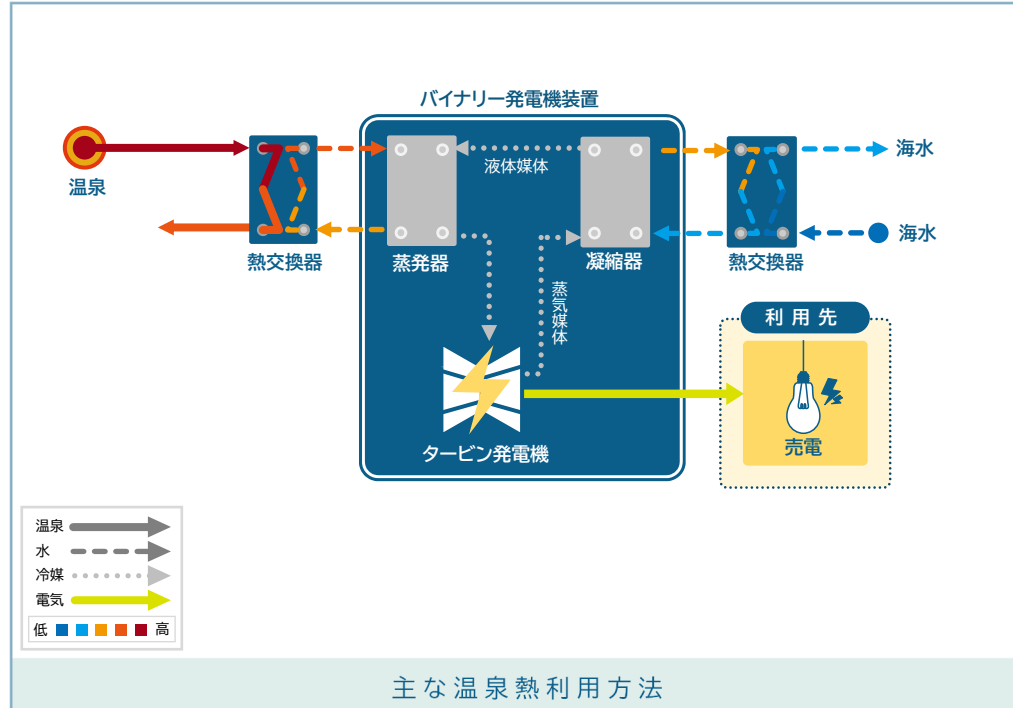


概要

使われていなかった温泉を利用してバイナリー発電を行い、発電した電力はFIT(固定価格買取)制度を活用して、売電を行っている。



泉 質	塩化物泉	CO₂ 排出量 削減 効果 888 t-CO₂ /年相当 削減 ※1	エネルギーコスト 削減 効果 3,900 万円/年相当 削減 ※
熱利用温度	100℃		
利 用 温 泉	既存温泉		
総 事 業 費	- (補助金・自己資金)		



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

※ 1: CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値です。